

2 年次前期・必修

2 単位・90 時間

【目的・目標】

地域で暮らす様々な発達段階にある人々の健康・生活の特徴を捉え、健康な生活を守るための支援について学ぶ。

- 1) 地域で展開する保健福祉事業や保健師活動の実際から、周産期にある人や乳幼児・保護者、成人期、高齢期の人々の健康・生活の状況とそれらに応じた支援の状況を捉える。
- 2) 保育園で生活する子どもとの生活体験を通じて、子どもの成長発達状況や生活の場を知り、成長・発達に応じた援助方法を修得する。
- 3) 学齢期の子どもの成長発達や学校生活の状況と、それらに応じた学校での健康管理や看護活動を捉える。
- 4) 成人期の人々の労働環境や健康問題と、それらに応じた事業所での健康管理や看護活動を捉える。
- 5) 地域で暮らす人々の発達段階の特徴に応じた健康な生活を守るための支援のあり方について考える。

【実習方法】

- 1) 実習期間：2 週間
- 2) 実習場所：下記の①～④それぞれの指定された施設
 - ①和歌山県内の市町村保健センターおよび保健所、地域包括支援センター
 - ②和歌山市内のこども園・保育園
 - ③和歌山市内小学校
 - ④和歌山県内の企業等
- 3) 方法：施設別の実習計画に基づいて行う。

【実習評価】

実習目標達成度（60%）、実習への参加態度（20%）、提出物（20%）

【履修に際しての条件・注意事項】

- ・実習に関する詳細は、実習前オリエンテーションで説明する。
- ・今後の学習の基盤となる貴重な体験となるので、積極的な学習姿勢が必要とされる。